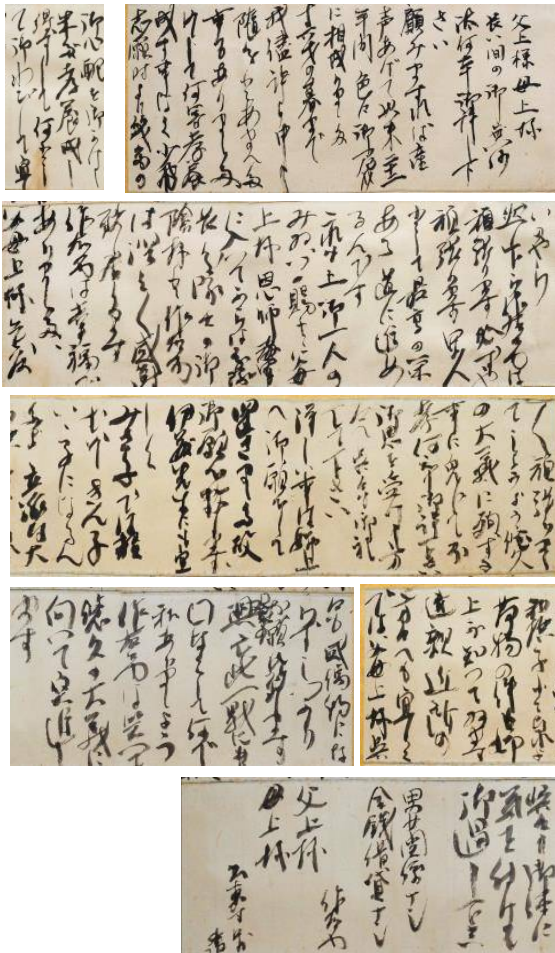
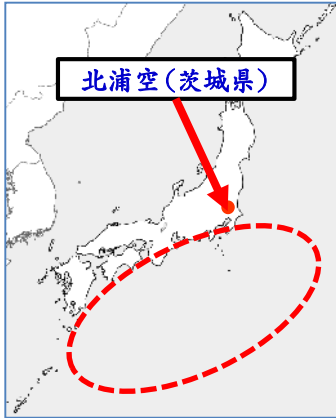




氏名 齋藤 作右衛門(21歳) 出身 山形県
 期別 第13期乙種飛行予科練習生(昭和15年6月入隊)
 所属部隊 北浦航空隊
 戦没日 昭和20年5月8日(1945年)
 状況 本州南方海域の敵機動部隊の攻撃中戦死。

最期の出撃1か月前、
 桜の枝を手に何を想うのか

男女関係なし。金銭貸借なし。



父上様、母上様、長い間の御無沙汰何卒お許し下さい。
 顧みますれば産声をあげて以来二十二年間色々とお世話に相成りました。
 十六歳の暮まで、我儘ばかり申し随分とあまえた事もありました。そして何より孝養成す事なく、少飛志願時より幾多の御心配を御かけし、未だ孝養成し得ずして何として御わびして宜しいやら、然し乍ら作右衛門は頑張ります。必ずや頑張ります。日本人として最高の栄ある道に進めるんです。これは上御一人のみの賜と、父母上様、恩師、海軍に入ってから、分隊長、分隊長の御陰様にて作右衛門は深く深く感謝致しております。作右衛門は幸福でありました。父母上様、きつときつと頑張りまして、従容悠久の大義に殉ずる事に免じて不幸何卒御許し下さい。御恩を受けた方々へ呉々も御礼して下さい。詳しい事は姉上へ御願ひして置きました故御願ひ致します。
 伊藤先生にも宜しく。みさ子では頼むぞ。きん子いい子になるんだよ。立派な大和撫子になれよ。荷物の件は姉上が知っています。近親近所の方々へも宜しく。
 では、父母上様、呉々も感傷的にならず、しつかりお願い致します。国家の興亡の一戦にあり、国なくして何で私ありましよう。作右衛門は笑って悠久の大義に向って突進します。
 呉々も御体に気をつけてお過ごし下さい。男女関係なし。金銭貸借なし。